

農場実習報告

こんにちは、授精課の大原です。私は、4月に二件の農家さんの実習に行ってきました。一件目はヤマギシズム別海、二件目は井出牧場です。大学では中小家畜に関わっており、あまり牛に関わる事がなかったため、初めてではないですが慣れていないものでたくさんご迷惑をおかけしたと思います。今回はそんな私が農家実習で感じたことを書きたいと思います。

まず一件目のヤマギシズム別海について、私が初めてヤマギシズム別海の農場を見たとき、規模が大きすぎる！この頭数を管理するのは大変だ！と思っておりました。千頭以上規模の農家さんを見たこともなかったので、実習させていただけたのはとてもいい機会でした。牛の頭数が多い＝牛舎も多いです。牛舎は乾乳舎、分娩舎、育成舎、哺乳舎、フリーストール牛舎、ロボット牛舎、繋ぎ飼い牛舎と別れており、それぞれ担当の従業員を配置させています。担当の方たちについて回ったのですが皆さんとても勉強してらっしゃっているというのが第一印象でした。また、牛に優しいという印象もありました。当たり前のことですが、たくさんの従業員がいる中で皆さんが一丸となって向上心を持って仕事をされていることにとても感動致しました。私も情報提供する側としてどの農家さんよりも勉強しなければと、とてもいい刺激になりました。

二件目は、黒毛和牛農家の井出牧場でした。井出牧場での第一印象は敷地内や牛舎の中が整理整頓されており、大変きれいでした。また、元酪農家ということもあり、フリーストール牛舎は酪農をやっていた時の牛舎をそのまま使用されているとのこと。古い牛舎、という感じはなく、大切に使用されているのだなと感じました。牛舎だけではありません、牛も大切にしており、牛一頭一頭の愛情が強く感じられました。和牛のことを全く知らなかった私ですが、乳牛とはまた違った世界にワクワクさせていただきました。ホルスタインに和牛受精卵を移植することも増えており、和牛について勉強する良いきっかけになりました。和牛の血統についても勉強中なのでまたお話しできると幸いです。

この二件の農家実習を終えて、学ばなければならないことがたくさん見つかり新たに私の中での視野が広がりました。このような機会はもうめったにないので貴重な体験をさせていただけたこと、大変嬉しく思っております。ヤマギシズム別海の皆様、井出家の皆様には実習の間大変お世話になりました。これから人工授精師としてお邪魔することが多いと思いますが、お役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。ヤマギシズム別海の皆様、井出家の皆様に深く感謝申し上げます。

大原 珠丘